

【小学校の部 優秀賞】

「ごはんをたべることって、
たのしいね。おいしいね。」

奈良市立伏見小学校 1年 奥垣 佳士

ぼくは、たべることよりあそぶのがすきやった。いつも、しょくじのじかんがいや。ママは、いつもおいしいごはんをつくってくれるけど、ごめんね。そんなぼくを、しんぱいしてびょういんへつれていってくれた。せんせいから、けんこうですよ、なにもしんぱいない、むりにたべさせると、しょくじするのがいやになるから、いまのままでといわれた。でも、しんぱいなママは、ぼくのすきなものをいっぱいつくってたべさせようとした。ぼくも、はるからしょうがくせいになった。しんぱいしてた、きゅうしょくがはじまる。じぶんでも、びっくり。おいしい。きょうもおかわりした。なんか、しょくじがたのしみとおもってきたよ。いまは、いえでも、みんながびっくりするくらい、ごはんをたべる。おいしい。きょうは、はたけでトマトをもいでたべた。すごくおいしい。ママ、きゅうしょくいんさん、たいようさん、ぼく、ごはんをたべることがすきになった。ありがとう。